

II 学校運営

1 学校教育目標と運営方針

(1) 教育目標

心豊かで、たくましく生きる子供の育成
○学び合う子供(確かな学力) ○認め励まし合う子供(豊かな心) ○鍛え合う子供(健やかな体)

(2) 本年度の重点目標

互いのよさや成長を認め合い、学び合う子供の育成

(3) 学校運営の方針

① 学校運営

- 社会に開かれた教育課程の理念に基づいたカリキュラム・マネジメントの推進
 - ・国の施策、県の重点施策(富山県教育委員会指導の重点等)、射水市の基本理念(射水市教育振興基本計画等)を踏まえた創意ある指導計画の作成と、PDCAを生かした進行管理を行う。
- 教職員の共通理解と協力体制の確立
 - ・重点目標達成に向けて、目指す学校、目指す学級像・児童像と課題を共有し、全教職員の協力体制の確立を目指す。
 - ・教職員が各自の責任を果たし、認め合い、支え合い、高め合う校務運営を行う。(チーム堀岡)
- 安心して過ごすことのできる居心地のよい学校・学年づくり
 - ・子供に寄り添い、よさや成長を認め、励ます言葉かけを通して、自尊感情、自己有用感の醸成を図る。('ありがとう」「いいね。がんばっているね」と言える教師に)
 - ・いじめを絶対に見逃さない指導体制の徹底を図る。
- 学びの成果が実感できる学習指導の充実
 - ・「射水スタンダード～授業のABC～」に基づき、「分かった」「できた」が実感できる授業づくりを推進することで、子供が自らの成長や変容を実感できるようにする。(目を見て、笑顔で思いをつなぐアイコンタクトを大切に)
- 地域や幼・保、小、中の連携及び協働の推進
 - ・地域の人材・自然・文化等、地域の資源や教育力を生かしたいのちの教育・ふるさと教育を充実させ、子供主体の学習を推進する。
 - ・地域と連携した教育活動を推進したり地域行事に参加したりすることで、地域の声を生かしながら、共に子供を育てる体制を強めていく。
 - ・幼・保、小、中の連携を図り、主体的で積極的な研修の実践を図る。
- 教職員の心の健康、体の健康、家族の健康が保持できる職場環境づくりの推進

② 教育活動

○【学び合う子供】

- 互いの考えや思いを聞き合い、進んで伝え合おうとする子供
- ・見通しとゴールの姿を明確にした課題設定
- ・ペア・グループ・全体で聴き合い、互いの考えを深め合う指導
- ・自らの成長や変容を実感できる振り返りの場の設定
- ・繰り返し指導や補充学習による基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得
- ・学習規律の徹底(凡事徹底-射水スタンダード、堀岡っ子学習の約束10-)
- ・個に応じた家庭学習の指導の充実(ノート展覧会や学年だよりでの家庭学習ノートの紹介、「心も学力もアップ週間」における学習方法の例示や励ましの声掛け等)

○【認め励まし合う子供】

- 進んで関わり合い、よさや違いを認め合おうとする子供
- ・よさを認め、伝える教師の日常的な関わり(言葉かけ、日記、ノート指導等)
- ・目当てをもって取り組む活動への支援(清掃活動、各種集会・行事等)
- ・「いのちのかがやきファイル」の累積・活用
- ・あいさつ・あったか言葉運動、あったかハート宅急便(全校の日、家庭・地域の日)の活性化
- ・いのちの教育・ふるさと教育の充実(堀岡ウオーク、水生生物の飼育活動や植物の栽培活等)
- ・子供のよさや気がかりを共有する定期的な場の位置付け(生徒指導日誌、週末の終礼での情報交換会、ケース会議等)

○【鍛え合う子供】

- よりよい生活習慣を身に付け、進んで体力づくりに取り組む子供
- ・児童会による呼びかけ、スポーツ週間(外遊び・運動)
- ・「心も学力もアップ週間」「あったか家族の日」「小中連携メディアコントロールデー」等の機会の活用・充実による家庭・PTA・中学校との連携の強化(「早寝早起き朝ごはん」「家族との触れ合い」「9時以降はインターネットにつながる機器は家の人に預けましょう運動」等)

(4) 重点項目を達成するための具体的な目標及び数値指標

- 学び合う子供
 - ・ 1日1回以上は、自分の考えを友達に伝える。(達成度80%以上)
- 認め励まし合う子供
 - ・ 目を合わせて、自分から元気に挨拶をする。(達成度80%以上)
- 鍛え合う子供
 - ・ 「みんなでチャレンジ3015」の達成を目指し、毎日運動する。(達成度85%以上)

